

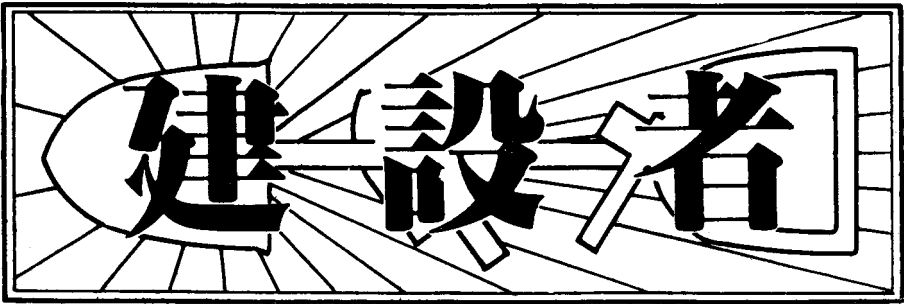
事務所臨時閉鎖
のお知らせ

事務所臨時閉鎖は下記の日付
です。ご注意下さい。

8月3日(水)

8月15日(月)

お手続きは事前をお願いします。



東京土建一般労働組合

葛飾支部

〒124-0012 葛飾区立石8-34-4

電話 (5698) 1261

FAX (5698) 1262

発行人 細貝文洋

日常拡大の成果表

アスベスト被害を根絶する勝利判決を

命あるうちの解決を！

提訴3周年行動 日比谷公会堂に2000人を超える参加者

	2011年 1月1日付	2011年 7月1日付	日常拡大 月間目標	加入者	日常拡大 7月5日現在	成果表
新 小 岩	132	115	2	☆ 2	■	増減▼17
西 新 小 岩	111	108	1	0		増減▼3
東 新 小 岩	351	325	5	1	■	増減▼26
奥 戸	516	466	8	1	■	増減▼50
本 田	197	198	3	2	■	増減○1
立 石	156	141	2	0		増減▼15
青 戸	225	217	3	0		増減▼8
お 花 茶 屋	218	196	3	0		増減▼22
堀 切	285	266	4	1	■	増減▼19
二 葉	251	228	4	1	■	増減▼23
西 亀 有 ①	168	154	3	0		増減▼14
西 亀 有 ②	102	92	1	☆ 1	■	増減▼10
亀 有	243	220	4	0		増減▼23
細 田	216	202	3	1	■	増減▼14
高 砂	246	210	4	1	■	増減▼36
柴 又	254	247	4	2	■	増減▼7
新 宿	165	157	2	0		増減▼8
金 町	166	157	3	0		増減▼9
東 金 町	170	146	3	0		増減▼24
東 水 元	284	253	4	1	■	増減▼31
北 水 元	271	213	4	0		増減▼58
幸 田	257	250	4	1	■	増減▼7
飯 塚	160	155	2	☆ 4	■	増減▼5
そ の 他	239	226	5	1	■	増減▼13
合 計	5383	4942	81	20	6月17人 7月3人 8月人	

1月1日付人員比 マイナス 441人



うちをかかけ『アスベスト訴訟勝利を勝ち取る』と団結 葛飾からは44人が参加

国とアスベスト建材企業を被告として、08年5月と6月に東京地裁と横浜地裁に対し、アスベスト被害者と遺族が提訴してから、この6月で3年が経ちました。6月23日(木)日比谷公会堂で『首都圏建設アスベスト訴訟提訴3周年集会』を2000人を超

える参加者で行いました。(葛飾支部からは、44人が参加)集会では、参加者全員が『年内に結審・来春判決の横浜地裁と来年早々の結審・夏前の判決をめざす東京地裁での勝利判決を勝ち取るため、団結を固め前進しよう』と決意を固めました。

春の拡大が終わり、6～8月までは日常拡大月間として、みなさんに日々の中での

5000人を割る人員
日々の拡大で回復をはかろう

組合員の拡大をお願いしている期間になります。今現在も5000人をきって7月1日付で4942人が葛飾支部の組織人数、1月1日付比で41人のマイナス人員です。春の拡大では支部目標を達成できませんでした。秋と年間拡大目標達成に向けて今からしっかりと種まきをしましょう。今一度未加入の対象者のリストアップをお願いします。

最近の加入例では、区の保険に入っていたが、保険料が上がったため土建国保と金額を比べて加入にいたった事例があります。区の保険料が上がったことが大きな動機となるケースもあります。

第34回住宅デーを、6月5日(日)葛飾区内34カ所で開催しました。地域住民に来てもらえるよう各分会が思考をこらして行いました。

幸田分会では、『東日本大震災の復興に向けた内容で取り組みたい』と、会場内で東北6県の名産物を展開。東金町分会では、震災の影響で、転倒防止金具の取り付け依頼がありました。

取組結果は、本田分会が6年連続で3目標を達成したのに続き、幸田分会も3目標を達成しました。

第34回住宅デー開催

3目標達成は
本田と幸田



厚生労働省宛の要請ハガキ

動は、厚生労働省宛の4枚つづりのハガキです。8月末に厚生労働省は、財務省へ概算要求を出します。概算要求には、土建国保組合への補助金が当然含まれています。この概算要求の段階で、土建国保を守るための補助金確保をめざします。

※土建国保は国と東京都から約44%の補助金を受けています。皆さんの協力をお願いします。

厚労省宛ハガキ要請
土建国保を守るために協力を

毎年行っているハガキ要請行動。今年も皆さんに協力をいただく取り組みとして実施します。

7・8月のハガキ要請行動は、厚生労働省宛の4枚つづりのハガキです。8月末に厚生労働省は、財務省へ概算要求を出します。概算要求には、土建国保組合への補助金が当然含まれています。この概算要求の段階で、土建国保を守るための補助金確保をめざします。

※土建国保は国と東京都から約44%の補助金を受けています。皆さんの協力をお願いします。

寅さん

今、一番の話題
というか、問題に
なっていること
は、民主党の菅首相の『首相を辞める』のは何時の事になるのか。

今回の「東日本大震災」のあった3月11日に、もしも地震がなかったら何があったのか。

自分も知って驚きました
が、この日に「地震がなかったら」菅首相に対しての「内閣不信任」案が提出をされる予定になっていたのです。『九死に一生を得た』菅首相は、6月2日の「不信任案」否決するために辞任する?とかで、6月が終わろうとしている今も「やる気満々」です。復興のためには、自民・公明などの「大連立」が必要で、第二次補正予算など決めるのに、50日を70日に延ばしたり、何よりも日数が決まるまでかかってしまう。「エネルギー問題」等をやり遂げてから、やり切ってから、とか。

大連立の構想の中の「新首相」という提示に対して「新体制」ととか内閣総辞職をしても菅首相は辞任を考えていないようです。

「社会保障の問題と消費税」を一つの問題として片付けようとしています。

震災から今でも自分の立場だけを考え、「被災者」のことはなにか考えていないように、自分の地位や役職に「執着」していたのではなにも解決はしないと思います。

執着心を捨てて一日も早い「被災者の事」を考えて決断を願ってやまない今日この頃です。

2011年6月5日 第34回住宅デー取り組み 結果一覧

分会名	5月1日 付 組織人数	住宅デーの三日標 結果								
		①組合員・家族の参加(20%)			②来場者(100%)		③住宅相談(3件)			
		目標	合計		目標	人数	目標	件数		
新 小 岩	112		22	13	☆	112	115	3	2	
西新小岩	105		21	17	☆	105	120	3	0	
東新小岩	323		65	48		323	124	3	1	
奥 戸	469		94	57		469	350	☆	3	3
本 田	188	☆	38	44	☆	188	257	☆	3	6
立 石	137		27	22		137	110	☆	3	3
青 戸	209		42	31		209	87	☆	3	4
お花茶屋	202		40	31	☆	202	300		3	0
堀 切	262		52	28		262	110		3	0
二 葉	235		47	26		235	70		3	1
西亀有①	153		31	20	☆	153	200		3	0
西亀有②	98		20	18	☆	98	110		3	2
亀 有	221		44	20		221	32		3	2
細 田	205	☆	41	45		205	86		3	0
高 砂	219		44	31		219	70	☆	3	3
柴 又	246		49	45		246	125	☆	3	6
新 宿	159		32	24		159	49		3	1
金 町	160		32	19		160	83		3	0
東 金 町	149		30	15		149	50		3	1
東 水 元	259		52	31		259	98	☆	3	3
北 水 元	204		41	26		204	68		3	2
幸 田	244	☆	49	69	☆	244	256	☆	3	4
飯 塚	154		31	28		154	140		3	0
そ の 他	229									
計	4,942		988	708		4,713	3,010		69	44

奥戸分会
仲間も楽しんだ住宅デー
住宅相談もだんだんと良い反応に？

【奥戸・教宣・星谷聰】2年前は雨、昨年は奥戸小・南奥戸小の運動会でガツカリ。今年こそは（奥戸小は運動会だったけど）、水ヨーヨー、スパーボールは小沢 家、わたアメは徳山さん、かき氷は鈴木さん・坂本さん、ポップ

第34回住宅デーを区内34会場で開催
晴天に恵まれ各会場で地元の職人アピール
14分会が目標を達成

ブロンは阿久津一家、焼きンバは藤田夫人・菅原夫人・坂本夫人・鮎沢夫人・六角夫人・渡辺夫人・神谷夫人・新井夫人がおもちゃも販売。受付を米持夫人と上杉夫人・井上夫人に頼み、相談コーナーは新井さんに座ってもらった。具体的な見積もり相談は屋根から2件他だが、一般的な質問相談は数人が入れ替わりに。だんだん反応がでてきているのかな？



1日中人でにぎわう奥戸会場 絵になっていたとの評 奥戸

のテントでマナ板削りを渡辺（政）さん・鮎沢さん・長さん・米持さん。配線工事ともつつきは米山さんを中心に、人気の風船とおもちゃは、瑞樹君・祐一君と乾太郎君達若手組が主力で。

来場350人 参加者57人
包丁198丁 まな板17枚
相談は3件
一応報告書はこんなところ。来場者の数がネ。500は欲しいけど。1日中人がいてくれたところでヨシとするか。相談は具体的なもののだけ、仲間の参加も100人位欲しかったかも。でも今年は絵になっていたヨと仲間の評。



6年連続で3目標達成した本田分会 木根川中央公園会場

本田分会
今年も大成功で
6年連続3目標達成
【本田・教宣・高橋淳】6月5日、晴天の中での住宅デーが前もっての宣伝ポスター等が貼って、地域の皆さんに宣伝をした成果が伝わりました。包丁ときは相変わらずの人気でした。
来場者は、包丁1120丁、金魚すくい88人、竹ト



東北支援で6県の物産を展開 幸田

幸田分会
東北の旨い物で
大盛況
来場者250人越す

【幸田・教宣・伊藤兼夫】6月5日、西水元宮田公園で開催された第三十四回住宅デーは多くの来場者で賑やかであった。例年より早い梅雨入りで心配されたお天気も、お陰様で晴れのち曇りのめぐまれた天気となった。仕事対策部の進藤さんを中心に二か月以上も前から企画、準備は進められ東日本大震災を受け支援の一環として東北六県の



フラと大勢の仲間で盛り上がる お花茶屋

お花茶屋分会
運動会 亀参まつりは強敵!!

【お花茶屋・教宣・笹原恵子】梅雨入りで心配していた天候には恵まれたのですが、2大強敵には、敵わず入出を奪われました。特に小学生の姿が少なく、寂しい限りでしたが、フラが盛り上げてくれたのが、フラと多勢の手伝いの人。フラは総勢22人。子ども達も加わって踊ってくれました。先生の息子さんも最後の決めポーズもバッチリ。いっぱい練習したよと胸をはっていました。手伝いは、総勢24人。特に玉枝さん（松本「安」夫人）は揚物を一手に引き受けてくれ、手際の良さに、一同感服。初めて参加の人も。



子どもに人気のメダカすくいを見守る山岡分会長 堀切

今年が目玉は、東日本大震災の影響もあってか、「耐震金具の取り付け」そして「義援金」の募金箱もおいての開催となりました。今回も「フランク」「焼きそば」「ヨーヨー」「銅版工作」等多数行いましたが、堀切菖蒲園の「菖蒲まつり」と重なってか参加者も若干少なくして、今回終了後、センターで反省会を持って、次の開催地は小菅の「袋橋公園」で開催を進めることになりました。今回は今回の反省で「簡易テント」の増設も視野に入られて、今年より一段と飛躍した「住宅デー」をめざして新たにスタートを切りました。



住吉児童遊園会場ではポップコーンも展開で大盛況 高砂

【高砂・教宣・小林總一郎】今年は雨の心配もなく、良好なお天気具合でラッキーだった。朝8時半には仲間も集まり出して、柴田さんのトラック到着と共に会場設営に。住吉会場の方ではポップコーンをやるとのまじり、9時過ぎに主婦の会の女性群も加わり、風船を膨らませたり、受付の準備をする。10時前にポチボチお客も見えた。3名の砥き方で包丁も増えだした。10時半頃には支部からは植木書記長と山屋さんの2名で会場視察に。とりかかる。のぼり旗、横断幕、包丁とき場にブルーシートをかぶせて屋根を作ったり、9時過ぎに主婦の会の女性群も加わり、風船を膨らませたり、受付の準備をする。住吉会場の方ではポップコーンをやるとのまじり、9時過ぎに主婦の会の女性群も加わり、風船を膨らませたり、受付の準備をする。10時前にポチボチお客も見えた。3名の砥き方で包丁も増えだした。10時半頃には支部からは植木書記長と山屋さんの2名で会場視察に。見える。その後区議会議員の三小田さんが秘書らしき女性と激励に見えられた。お客も途切れずに結構忙しい。住吉会場で作ったポップコーンを高砂会場にも30個ぐらいいもってきただが、遊園地に遊びに来た子どもたちにも分けてあげたりしたが、子ども連れは少なかった。高砂分会はキノコの缶詰、山菜のたまり漬けなども販売したが、これらは売れ行き好調だったようです。昼食後はお客もまばらになり、1時を過ぎたら途絶える。2時半まで粘り、後始末を始める。両会場で来客数70名。参加組合員31名。研いだ包丁146丁、まな板削り16枚、住宅相談3件、募金1万4千493円。参加の皆さんお疲れさまでした。



格安サービスの網戸張替作業中の館野分会長 西亀有②

【西亀有②・教宣・折笠和子】34回回の住宅デー。良く続いているなと思います。土建組合がある限り、地域との密着という点では、一番良い取り組みなのでしょうね。西亀有②分会は、包丁とき、まな板削り、網戸張替を中心、最近銅板工作や葛飾元氣野菜の販売も行っています。今年も天気は恵まれ、来場者もますます。毎年なじみのご近所さんや役員の声かけで来る人やらで、午前中は包丁がズラリと並びました。砥き手の職人が少なく、休む間もなく、ひたすら砥ぎに専念。その後は工場にまな板を持っていき、きれいに削りあげてくる。網戸張替は実費のみで。格安サービスの受付をし、番号シールを貼ったり、受け渡しをしたり、野菜の販売もし、来場者との接客(?)に努めました。

西亀有②分会
包丁ズラリ砥ぎに専念!!



野田材木店で開催の住宅デー 東水元

来場者は大人が70人位、小人30人位か。包丁砥き80丁。募金1366円。住宅相談に期待していましたが、3件ほど話があったそうですが、現在見積もり中で、結果は後日説明があります。当日の出席の組合員数は、31名でした。

東水元分会
住宅デー
ご苦労さまでした

【東水元・教宣・林崎正】6月5日（日）東水元分会は野田材木店作業所に開催しました。役員さんはじめ、お手伝いの組合員の皆様、テント設営等にありがとうございました。当初は好天に恵まれて住宅デー1日よりでしたが、毎年の行事の水元公園のしょうぶまつりに行ったのか出足が悪く、この日を持っている方は来たようですが、今年は昨年より来場者も売上も少ないように思われます。

堀切分会
来年を見据え今から準備

【堀切・教宣・細貝文彦】今年も昨年に引き続き、晴天の中「第34回住宅デー」を全都一斉に開催しました。堀切は昨年同様の6月の第1日曜で、今年は「かき氷」と「金魚すくい」はなかったのですが、「メダカすくい」を行い結構こどもたちに行っていました。次回は今回の反省で「簡易テント」の増設も視野に入られて、今年より一段と飛躍した「住宅デー」をめざして新たにスタートを切りました。

式典最後に参加者全員で笑顔で記念撮影



主婦の会40周年記念式典・祝賀会

『明るく・楽しく・元気よく』を合言葉に開催
テクノプラザを会場に170人が参加



第1 ブロックの炭坑節



第2 ブロックのハンドベル



第4 ブロックの安来節



第6 ブロックの合唱



第3 ブロックの健康体操



第5 ブロックの詩の朗読

工夫を凝らす

午後の部の記念祝賀会では、各ブロックからの出し物で会場は大盛り上がり。①第6ブロック：合唱②第1ブロック：炭坑節

午前の部では、本部主婦の会会長の色摩ひな子（練馬支部）をはじめ、多くの来賓のご挨拶をいただき、その後、篠田綾子さん（北水元）から『葛飾主婦の会あゆみ』として、主婦の会の結成当時の歴史について、続いて、柴田真希さん（フードコーディネーター）による食についての講演がありました。

最後に集合写真を記念撮影。成田テツ子さんによる閉会あいさつ・ガンバロー三唱で記念祝賀会は楽しいうちに終わりました。

- ③第5ブロック：詩の朗読
- ④第3ブロック：健康体操
- ⑤第4ブロック：安来節
- ⑥第2ブロック：ハンドベル



大山主婦の会会長

主婦の会会長 大山艶子さん バトンはつなぎます

【主婦の会・会長・大山艶子】組合も昨年来の就業実態調査・適用除外で組合員の減少を余儀なくされました。3月には「東日本大震災」「原発事故」とかつて経験したことのない惨事に被災地では、今なおたくさんの方の悲しみと困難を強いられています。忘れられない年となることでしょう。

う。40年という長きにわたり「主婦の会」は女性特有の「ねばり」と「やさしさ」「明るさ」で、常に前向きに組合員のおとうさんを支え共に歩んできました。すべての女性たちの願いである『いのちとくらし』を守り、新しい時代の要求を見つめながら、多くの諸先輩がたから受け継いだバトンは必ずつないでいきます。

梅松さん・鈴木さん(新宿)

石巻へボランティア

自然の破壊力を目の当たりに



左：鈴木利三さん 右：梅松辰雄さん

東日本大震災の復興のための東京土建本部によるボランティア活動に、新宿分会の梅松辰雄さんと鈴木利三さんが参加しました。6月24、26日（金、日）の2泊3日で石巻へ。以前よりボランティアをしたかったと話す梅松さんは、春の拡大月間中の新聞の裏面に掲載されたボランティア募集に鈴木さんと共に応募しました。「メディアの報道で知る被災地のイメージより実際の現地は復興していたと思いました。ところが、ボランティア活動が終わり、宿舎に戻る前に連れて行かれた日和山（ひよりやま）公園の山頂から街を一望した時、復興の道の険しさを実感しました。私達が復興のため活動をしていった地域は、ほんの一角に過ぎず、それ以外の広大な範囲では、まだ時計の針は止まったまま。被災した当時の状況のままです。」

「大変な作業でしたが、無事終わることができました。この家の方からは感謝をされたのであれば行きたいです。」とお話いただきました。

二人が実際にボランティア活動をしたのは、現地災害対策センターに要請があった家屋の床下のヘドロの片づけでした。1階の床全部をはがし、床下に溜まった長靴ギリギリ埋まってしまふほどのヘドロをかき出し、袋に詰めて運び出す作業でした。

熱中症にご注意ください!!

ままでした。自然の破壊力を目の当たりにしました。」

二人が実際にボランティア活動をしたのは、現地災害対策センターに要請があった家